

様式第二

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

<p>① 宅地造成及び特定盛土等規制法 {第 12 条第 1 項} <del>第 30 条第 1 項</del> の規定により、許可を申請します。</p> <p>×年×月×日</p> <p>鹿児島県知事 ×× ×× 殿</p> <p>申請者 氏名 株式会社カゴシマケン</p> <p>代表取締役 鹿児島 太郎</p>		<p>③ ※手数料欄</p> <p>記入しない</p>		
1	工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	鹿児島県霧島市隼人町小田××番地 株式会社カゴシマケン 代表取締役 鹿児島 太郎 (役員 4 名：暴力団等に該当しない旨の誓約書参照)		
2	設計者住所氏名	鹿児島県始良市宮島町××番地 株式会社アイラ設計事務所 代表取締役 加治木 三郎 設計者：蒲生 次郎 ○		
3	工事施行者住所氏名	鹿児島県霧島市国分野口××番地 株式会社キリシマ建設 代表取締役 日当山 四郎		
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	鹿児島県霧島市溝辺町麓××番地 外●筆 (緯度：31 度××分××秒×、経度：130 度××分××秒×)		
5	土地の面積	750.00 平方メートル		
6	工事着手前の土地利用状況	空き地		
7	工事完了後の土地利用	建築物 (工業・事業用地)		
8	盛土のタイプ	平地盛土・腹付け盛土・谷埋め盛土		
9	土地の地形	溪流等への該当 有・無		
10 工 事 の 概 要	イ 盛土又は切土の高さ	5.00 メートル		
	ロ 盛土又は切土をする土地の面積	450.00 平方メートル		
	ハ 盛土又は切土の土量	盛土	1、000.00 立方メートル	
		切土	10.000 立方メートル	
	ニ 擁壁	番号	構造	高さ
		1	RC 造 L 型	5 メートル
2		間知石練積造	2 メートル	
ホ 崖面崩壊防止施設	番号	種類	高さ	
	1	大型かご枠工	2 メートル	

へ 排水施設	番 号	種 類	内法寸法	延 長	
	1	U型側溝	〇×〇センチメートル	20.5メートル	
	2	集水柵	〇×〇センチメートル	3箇所	⑰
	3	雨水柵	〇×〇センチメートル	3箇所	
	ト 崖面の保護の方法	擁壁及び大型かご砕工の設置			⑱
	チ 崖面以外の地表面の保護の方法	芝張 崖とは反対方向に排水勾配を設定			⑲
	リ 工事中の危害防止のための措置	工事区域をフェンスで囲う			⑳
	ヌ その他の措置	なし			㉑
ル 工事着手予定年月日	×年×月×日			㉒	
ヲ 工事完了予定年月日	×年×月×日				
ワ 工程の概要	〇月 擁壁工、〇月 盛土工			㉓	
11 その他必要な事項	〇〇法〇条の許可を取得済み			㉔	
※受付欄	※決裁欄	※許可に当たって付した条件		※許可番号欄	
年 月 日	記入しない			年 月 日	
第 号				第 号	
係員氏名				係員氏名	
<p>〔注意〕</p> <p>1 ※印のある欄は記入しないでください。</p> <p>2 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。</p> <p>3 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。</p> <p>4 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に〇印を付してください。</p> <p>5 3欄は、未定の場合は、後で定まってから工事着手前に届け出てください。</p> <p>6 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。</p> <p>7 8欄は、該当する盛土のタイプに〇印を付してください（複数選択可）。</p> <p>8 9欄は、溪流等（令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに〇印を付してください。</p> <p>9 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。</p>					

**記入方法**

- ①【第12条第1項又は第30条第1項】該当しない条文番号を抹消してください。

法条文番号	内容
第12条第1項	宅地造成等工事規制区域内において行われる工事
第30条第1項	特定盛土等規制区域内において行われる工事

- ②【申請者】工事主が申請者となります。（工事主とは、工事の請負契約の注文者又は自ら工事をする者となります。）法人であるときは、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。

- ③【手数料】記入は不要です。  
申請の際には、盛土又は切土をする土地の面積に応じた手数料が必要となります。

- ④【工事主住所氏名】工事主が法人であるときは、工事主の住所氏名のほか、法人役員の住所氏名を記入してください。（役員が複数名の場合は、記載例のとおり。）

- ⑤【設計者住所氏名】  
設計者が法人に所属する場合には、その法人の住所名称も記入してください。  
また、申請内容に、以下の「資格を有する者の設計によらなければならない工事」を含むときは、氏名の横に○印を付してください。

資格を有する者の設計によらなければならない工事
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高さが5メートルを超える擁壁の設置</li> <li>・ 盛土又は切土をする土地の面積が 1、500 m<sup>2</sup>を超える土地における排水施設の設置</li> </ul>

- ⑥【工事施行者住所氏名】工事施行者が申請時点で確定せず未定とする場合は「未定」と記入し、工事着手までに工事施行者の能力を証する書類を提出し、工事施行能力に係る審査を受けてください。

- ⑦【土地の所在地及び地番】土地の登記事項証明書に記載された所在・地番を記入してください。  
なお、工事区域が2筆以上の場合には、「外●筆」と記載してください。  
また、緯度経度については、盛土・切土の高さが最大となる箇所を代表地点とし、緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第1位まで記入してください。

- ⑧【土地の面積】「4 土地の所在地及び地番」欄の土地の総面積（実測による）を記入。  
ただし、地積調査が完了している等、当該土地の境界及び面積が確定している場合は、土地の登記事項証明書に記載された面積の記入に代えることも可能です。小数点以下第3位を四捨五入して、小数点以下第2位まで記入してください。

- ⑨【工事着手前の土地利用状況・工事完了後の土地利用】具体的な土地利用状況を記載してください。

工事完了後の土地利用については、以下の①～⑩から該当する内容を記入してください。

「⑩その他」の場合は、具体的な内容を合わせて記入してください。

工事完了後の土地利用
①建築物（住家）、②建築物（工業・事業用地）、③太陽光発電設備、④レジャー施設（建築物を伴わない）、⑤資材等置き場、⑥駐車場・駐輪場、⑦農地（田畑）・採草放牧地、⑧農業用施設（畜舎、温室、用排水路等）、⑨残土処分場、⑩その他（上記に含まれないもの）

- ⑩【盛土のタイプ】複数の盛土タイプに該当する場合には、全て選択してください。切土のみの場合には記載不要です。タイプの定義は下記のとおりとなります。

- (1)平地盛土：勾配 1/10 以下の平坦地において行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土
- (2)腹付け盛土：勾配 1/10 超の傾斜地盤上において行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土
- (3)谷埋め盛土：谷や沢を埋め立てて行う盛土

- ⑪【土地の地形】盛土・切土を行う土地が、「溪流等」の範囲に含まれる場合は「有」に○印を付してください。溪流等とは、山間部における河川の流水が継続して存する土地その他の宅地造成又は特定盛土等に伴い災害が生ずる恐れが特に大きいものです。具体的には、地形図等を用いて判読された溪床勾配 10 度以上の一連の谷地形であり、その底部の中心線からの距離が、25m以内の範囲を基本とします。

- ⑫【盛土又は切土の高さ】盛土・切土の最大の箇所の高さを記載してください。  
(許可対象規模判定高さ)  
小数点以下第3位を四捨五入して、小数点以下第2位まで記入してください。

高さの考え方
・盛土の最下端から最上端まで又は切土の最下端から最上端までの高さ ・盛土と切土を同時に行う場合は、両方を含めた最下端から最上端までの高さ

- ⑬【盛土又は切土をする土地の面積】実際に盛土又は切土をする全ての土地の面積の計を記載してください。小数点以下第3位を四捨五入して、小数点以下第2位まで記入してください。(許可対象規模判定面積及び手数料算定面積。面積は盛土又は切土をする前後の地盤面の標高の差が50センチメートル以下となる箇所も含まれます。)
- ⑭【盛土又は切土の土量】盛土又は切土をする土量の合計を記載してください。小数点以下第3位を四捨五入して、小数点以下第2位まで記入してください。(土量は盛土又は切土をする前後の地盤面の標高の差が50センチメートル以下となる箇所も含まれます。)
- ⑮【擁壁】設置する擁壁全てを記入してください。  
同一の擁壁が複数箇所にある場合はまとめて記入し、数が多い場合は別紙としてください。  
・「番号」欄：平面図と照合できる番号を記入。  
・「構造」欄：擁壁の構造タイプを記入。  
・「高さ」欄：擁壁の地上高を記入し、高さが順次変化する場合は最小～最大高さの範囲で記入。  
・「延長」欄：擁壁の施行延長を記入。
- ⑯【崖面崩壊防止施設】設置する崖面崩壊防止施設全てを記入してください。  
同一の崖面崩壊防止施設が複数箇所にある場合はまとめて記入し、数が多い場合は別紙としてください。  
・「番号」欄には、平面図と照合できる番号を記入。  
・「種類」欄には、崖面崩壊防止施設の種類を記入。  
・「高さ」欄には、崖面崩壊防止施設の全高を記入し、高さが順次変化する場合は、最小～最大高さの範囲で記入。  
・「延長」欄には、崖面崩壊防止施設の施行延長を記入。
- ⑰【排水施設】設置する排水施設全てを記入してください。  
同一の排水施設が複数箇所にある場合はまとめて記入し、数が多い場合は別紙としてください。  
・「番号」欄には、排水計画平面図と照合できる番号を記入。  
・「種類」欄には、排水施設の種類を記入。  
・「内法寸法」欄には、工場製品の場合は呼び名を記入。  
・「延長」欄には、排水施設の施行延長又は設置個数を記入。
- ⑱【崖面の保護の方法】擁壁、崖面崩壊防止施設の設置について記載してください。  
(擁壁、崖面崩壊防止施設の設置によらない場合は、法面保護工について記載。)
- ⑲【崖面以外の地表面の保護の方法】盛土又は切土によって生じる崖面以外の地表面の保護方法について記載してください。(法面保護工、勾配設置など)
- ⑳【工事中の危害防止のための措置】工事中の危害防止のための措置について記入してください。  
(例「工事区域をフェンスで囲う」、「土嚢等で土砂の流出を抑える」等)
- ㉑【その他の措置】他の欄に記載しているものの他、特筆すべき措置を実施する場合は記載してください。
- ㉒【工事着手予定年月日】年月日の記入又は許可取得後速やかに工事に着手する場合は、「許可の日の翌日」又は許可日より相当期間をおいた予定日を記入してください。(例「許可の日より10日以内」)
- ㉓【工程の概要】工種が多い場合は、「別紙工程表のとおり」と記入してください。
- ㉔【その他必要な事項】宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。